

法人名

特定非営利活動(NPO)法人アグリドックレスキュー

事業名

動物愛護センターに收容された犬を保護・一時飼養し、
終生飼養家庭につなげる保護犬譲渡会事業

事業内容

レスキュー



預かり



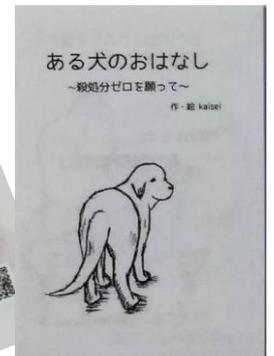
譲渡会/
お見合い



トライアル/
正式譲渡



譲渡会のようす



譲渡決定の犬達



事業の成果



- 1 令和4年7月以降、動物愛護センター等からの引き出しを開始。
- 2 11月譲渡会開催に向けて公式ブログと預かりスタッフブログにて告知活動を実施。その中で本助成金制度についても広報。11月20日譲渡会参加は35組71名。2頭のトライアルが決定、またその他個別お見合いなどを通じ17頭の譲渡が決定。
- 3 譲渡会では保護犬についての啓蒙活動として「アグリリーフレット」「あるいぬのおはなし」を配布。

今後に向けて

動物愛護センターなどに收容される犬の数は全国で27,000頭を超え、4,000頭以上が殺処分されています。保護犬の認知が高まり、殺処分される犬の頭数は減りつつありますが、中型犬雑種やシニア犬、病気の犬は引き取り手が見つかりにくいのが実情です。

アグリドッグレスキューは こうした犬たちも積極的に引き出し、適切な医療を受けさせていきたいと考えています。

引き出し後の医療処置や一時飼養には医療費、フード代等費用のかかる活動のため、次年度以降も活動を紹介する資料の作成や企業等への支援協力依頼を進め、広報担当者はメディアプロモート・メディアリレーションをすすめていくことで、より多くの方に保護犬や当団体を知っていただく機会を増やし、活動基盤を整えていく予定です。また 譲渡会場では保護犬を説明したパンフレットやリーフレットを配布し引き続き啓蒙活動を続けていきます。

【参考】「ある犬のおはなし」について

出典:「ある犬のおはなし」WEBサイトより
<http://aruinu.link/ohanasinokoto.html>

数ある私の中の想いのひとつを、書きとめておきたいという思いで書いたものです。

このおはなしは、犬の殺処分を描いています。

しかし、「命」を取り巻く環境の問題はもっともっとたくさんあります。

私たちが幸せに暮らすその裏には、たくさんの命が
命として扱われることなくその生を奪われています。

その多くは私たちの贅沢のために。

私たちは一度手に入れた幸せや贅沢をなかなか手放すことができません。

そして、それは時間の経過と共に「幸せ」や「贅沢」とすら感じなくなってしまうこともあるのではないのでしょうか。

誰かの命を奪ってまでそれを手に入れる必要が本当にあるのかな。

誰かの痛みや苦しみは本当に「仕方がない」と言えるのかな。

私たちの命は、多くの命によってここにあります。

だから、どんなに言葉を選んだとしても、このことを矛盾なしで語ることは本当に難しいと思います。
しかし、不自然な「命」の扱われ方だと感じている人はきっとたくさんいると思います。

このおはなしが届いた先で、命のことを考える人が少しでも
増えてくれることを願っています。

